



シニアクラブの方と一緒に遊んだよ

蓮池幼稚園

地域のシニアクラブの皆さんが、幼稚園に遊びに来て下さいました。皆と一緒にラジオ体操をしたり、手をつないでダンスをしたりして体を動かすと、シニアの方も子どもたちもすぐに仲よくなって笑顔いっぱい。保育室では、グループに分かれて折り紙やお手玉、紙ひこうき、こま回しなどを教えてもらいました。「一緒につくって」「どうやってするの?」「どうやるんだよ」「できたね!」と優しく答えてくれます。「教えてもらってできた」「紙ひこうきが遠くまで飛んだよ」と大喜びの子どもたち。あつという間の楽しいひとときで、心がほっこりしました。シニアクラブの皆さん、また遊びに来て下さいね。



▲いろいろな教えてもらいました

みんな仲良く気持ちをあわせて! 播磨小学校

11月14日、保護者向けの音楽会が行われました。朝から天気予報は雨と言うことで今にも泣きそうな空模様。午前7時頃にはもう5人ほどの方が9時会場のために待っておられました。開場の頃には長蛇の列が整然とできていました。

9時に開場すると、「おはようございます。毎年楽しみに来ています」と地域のご老人から心温まる言葉をかけていただきました。



▲一生懸命練習をしました

2学期に入ってから、楽器を決めたり、歌を覚えたりしてきました。中には、自分の思うようになくて泣きべそをかきながら頑張った児童もいました。少しずつ楽譜通りに演奏できるようになると、自信がついてきて笑顔が増えてきました。

11月10日、連合音楽会が本校であり、6年生が出演し、5年生が鑑賞しました。他の学校の演奏や歌声を聞いて新たな工夫が生まれてきた学年もありました。たった3日の内に表現豊かな演奏や合唱が披露できるようになりました。『良いものは良い』ことが分かるとても素直な「はりまっ子」だから、大きく変化させることができたのではないのでしょうか。

地道な取り組みをしっかりと繰り返し、常に良いものにしようとする子どもたちにまた元気をもらった一日でした。



▲大きな声で合唱

日本代表選手が南中に来たぞ!! 播磨南中学校

10月6・7日に、JFA心のプロジェクト「ユメセン」を行いました。「夢先生」の戸田和幸氏(サッカー元日本代表)と東俊介氏(ハンドボール元日本代表)が2年生の各クラスと一緒に身体を動かし、その後、『夢を持つことの大切さ』について授業をして下さいました。小学生の時はスポーツがそれほど得意ではなかったとのこと。挫折を何度も経験しながら、いろいろなきっかけや人との巡り合いがあって奮闘努力した結果、日本代表選手になれたことなどをエピソードを織り混ぜながら熱く語られました。



▲戸田さんの授業



▲東さんの授業

11月7日には、小林祐梨子氏(陸上競技元オリンピック選手)による講演会を催しました。小学校時代からオリンピック選手になることを夢とし、大・中・小の目標を設定して日々練習に励んでこられたそうです。たくさんの方との出会いに感謝することが、夢を実現させてくれることに繋がることも強調されました。



▲小林さんの授業

講演会後、真剣な面持ちで質問に来た生徒もいて、感想には、非常に感銘を受けた様子がたくさん書かれていました。

第25回大中遺跡まつりに参加して 播磨南高等学校



▲たくさんの方でにぎわいました

11月7日に第25回大中遺跡まつりが開催されました。多くの皆さまが播磨南高校の出店ブースに参加して下さり、ありがとうございました。輪投げコーナーとして出店しましたが、多くの方々に来て頂き、無事に成功することができました。本当にありがとうございました。当日は、出店の準備から運営、片づけと大変忙しかったのですが、それ以上に楽しくて、「もっとみんなに楽しんで欲しい」、「喜んでほしい」という思いが、自分にとって頑張る原動力となりました。

また、東はりま特別支援学校の皆さんとも交流しました。最初は、何を話せばよいかわかりませんでしたが、一緒に作業をしているうちに自然と話せるようになりました。東はりま特別支援学校の「ピンポンカップインゲーム」もすごく楽しくて、何回もやってみました。これからも、一緒にできる機会があればやりたいです。

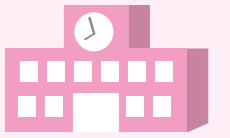
この大中遺跡まつりでの準備には、多くの苦勞がありました。みんなで協力し合うことによって、苦勞したこと以上に今まで感じたことのないような達成感や充実感がありました。これも、大中遺跡まつりの実行委員会の皆さまや、来店された多くの方々のおかげです。本当にありがとうございました。これからも、播磨南高校をよろしく願います。



教えて! 播磨町の奨学金とは?

▶問合せ 教育総務グループ ☎079 (435) 0533

播磨町では、経済的理由により就学が困難な学生などに対して奨学金を貸付しています。



1、貸付対象となる方

- 播磨町に住所を有し、次のすべての要件を満たす人。
- (1) 高等学校、高等専門学校、特別支援学校の高等部、専修学校、各種学校、大学および短期大学(ただし私立学校については学校法人が設置運営する学校であること)に在学している人
 - (2) 経済的理由により修学が困難な人(教育委員会の定める所得基準があります)
 - (3) 修学意欲が盛んである人

2、貸付される額

区分	奨学金の額
国公立の高等学校	月額17,000円
私立の高等学校	月額29,000円
高等専門学校 国公立	月額20,000円
私立	月額31,000円
専修学校 国公立	月額17,000円
私立	月額29,000円
各種学校	月額22,000円
大学・短期大学	月額30,000円 または50,000円 (自由選択)

※他の奨学金を受ける人は、その奨学金との合計金額が上記金額を超えない範囲となります。貸付額が上記金額以上の奨学金を受けている場合は、播磨町奨学金の申請は受付できませんのでご注意ください。

3、連帯保証人になれる方

貸付が決定した場合は、連帯保証人が2人必要となります。

1人目は奨学生の父母が連帯保証人になります。2人目の連帯保証人には次のⅠ、Ⅱの条件に全て当てはまる者を必ず選任してください。

Ⅰ、債務返済能力のある方

別住所で独立した生計を営み、債務返済能力のある者。債務能力を証明するいずれかの書類を提出していただきます。

- ・所得証明書：
(給与所得者) 年間収入 \geq 月賦返還額 \times 12月 + 300万円
(事業所得者) 年間所得 \geq 月賦返還額 \times 12月 + 200万円
- ・預貯金残高証明書：預金残高 \geq 貸付予定総額
- ・固定資産評価証明書：評価額 \geq 貸付予定総額

Ⅱ、以下のいずれかに該当する方

- (ア) 奨学生の父母以外の4親等以内の成年親族で、65歳未満の人
- (イ) 奨学生の4親等以内の親族でない成年のうち、65歳未満の人
- (ウ) 奨学生の4親等以内の成年親族で、65歳以上の人

4、貸付される時期

4月、8月、12月の3回に分けて奨学生本人名義の口座に振り込みます。

(ただし、貸付初年度は、8月、12月の2回とします)

5、返還の方法

貸付期間終了後の翌月から起算して6カ月経過した月から、返還が始まります。

返還期間は、貸付年月の2倍の年月になります。
(例) 月額50,000円の貸付を4年間受けた場合…月額25,000円を8年間で返還

6、認定基準(所得基準)とは

貸付希望者の属する世帯全員の「所得金額」を合計し、その合計所得金額が次の「収入基準額」を下回れば認定することができます。

収入基準額(平成28年度)

区分	収入基準額	
	大学・専修学校 専門課程に在籍	その他の学校に 在籍
世帯人員	1人	144万円
	2人	229万円
	3人	266万円
	4人	288万円
	5人	310万円
	6人	326万円
	7人	342万円

7、所得金額の計算方法

次の①所得金額から②特別控除額を引いたものが所得金額となります。

①所得金額

世帯員それぞれの所得について、給与所得の場合は次の計算式により所得金額を求め、世帯員全員の所得額を合計した金額です。

※ただし、事業所得の場合は売上金額から必要経費を差し引いたものを所得金額とします。

収入金額	所得金額
329万円以下	0円
330万円以上400万円以下	収入金額 \times 0.8 - 262.6万円
401万円以上878万円以下	収入金額 \times 0.7 - 222.6万円
879万円以上	収入金額 - 486万円

例…4人世帯【家族構成 父、母、兄(大学3年生)、奨学生(大学1年生)】

収入金額 父600万円、母350万円、兄60万円、奨学生0円

所得金額
ア 父 600万円 \times 0.7 - 222.6万円 = 197.4万円
イ 母 350万円 \times 0.8 - 262.6万円 = 17.4万円
ウ 兄 60万円 (329万円以下のため0円)
ア+イ+ウ = 214.8万円 < 288万円 (4人世帯の認定基準額)

②特別控除額

貸付希望者以外に就学者のいる世帯や母子・父子世帯、障害のある人がいる世帯等特別の事情のある世帯については、世帯の状況に合わせて特別控除があります。詳しくは教育総務グループにお問い合わせください。

▶平成28年度の奨学金貸付申請の受付期間

6月1日(水) ~ 15日(水) (予定)